



2025年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月8日
東

上場会社名 note株式会社 上場取引所
 コード番号 5243 URL https://note.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 加藤 貞顕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鹿島 幸裕 (TEL) 050(1751)2329
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第1四半期の連結業績(2024年12月1日~2025年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第1四半期	957	19.0	18	—	5	—	6	—	4	—
2024年11月期第1四半期	804	—	0	—	△7	—	△4	—	△4	—

(注) 包括利益 2025年11月期第1四半期 4百万円(—%) 2024年11月期第1四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第1四半期	0.32	0.30
2024年11月期第1四半期	△0.32	—

(注) 1. 2024年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+株式報酬費用+その他一時費用

3. 2024年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第1四半期	4,489	50.2	2,284	50.2		
2024年11月期	3,769	45.2	1,722	45.2		

(参考) 自己資本 2025年11月期第1四半期 2,256百万円 2024年11月期 1,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期	—	—	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,010	21.1	60	13.5	80	6.4	110	11.2	6.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年11月期 1 Q	16,532,800株	2024年11月期	15,390,500株
② 期末自己株式数	2025年11月期 1 Q	123株	2024年11月期	123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年11月期 1 Q	15,768,183株	2024年11月期 1 Q	15,320,644株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2025年4月8日（火）に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当連結会計年度においては、世界的な資源価格の高騰や不安定な為替の動向、商品・サービスの値上げによる物価高等により依然先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする。」をコーポレートミッションとして掲げ、クリエイターがユーザーとコミュニケーションをとりながらデジタルコンテンツを創作・公開・販売できるプラットフォーム「note」を中心としたメディアプラットフォーム事業を展開しております。また、2024年5月にTales & Co. 株式会社を設立し、IP・コンテンツクリエイション事業を展開しております。当社グループは、インターネット上にクリエイター・メディア・ファンをつなぐエコシステムを構築することを目指しています。

当第1四半期連結累計期間の売上高は957,626千円（前年同期比19.0%増）となりました。また、営業利益は5,519千円（前年同期は7,053千円の損失）、経常利益は6,059千円（前年同期は4,320千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,977千円（前年同期は4,922千円の損失）となりました。

報告セグメントにつきましては、メディアプラットフォーム事業及びIP・コンテンツクリエイション事業の2つを報告セグメントとしております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、当社グループは、従来「メディアプラットフォーム事業」の単一セグメントとしておりましたが、2024年5月にTales & Co. 株式会社を連結子会社化し、同社を「IP・コンテンツクリエイション事業」に区分したことに伴い、前第4四半期連結会計期間より「メディアプラットフォーム事業」及び「IP・コンテンツクリエイション事業」の2区分に変更しております。そのため、メディアプラットフォーム事業を除き、前年同期との比較・分析は行っておりません。

(メディアプラットフォーム事業)

メディアプラットフォーム事業では、CtoCメディアプラットフォーム「note」の運営、法人向け情報発信メディアSaaS「note pro」の運営、「note」上での企業協賛型コンテストの実施等を中心とした法人向けサービスに取り組んでおります。

「note」については、継続的な機能改善によってプラットフォームに集まるユーザー・コンテンツが順調に増加しており、2025年2月末時点で累計会員登録者数は938万人、公開コンテンツ数は5,462万件となりました。当第1四半期連結会計期間における流通総額は4,961百万円（前年同期比18.2%増）となり、引き続き高水準で推移しています。「note pro」については、noteのサービス成長に伴う企業からの認知度向上により引き続き利用企業は増加しており、2025年2月末時点でARR^{(注)1}は587百万円（前年同期比18.6%増）となりました。法人向けサービス事業については、「note」のユーザー数増加などにより、「noteコンテスト」案件が堅調に推移しております。

この結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は941,809千円（前年同期比17.0%増）となりました。その内訳は、note売上高769,921千円（前年同期比16.1%増）、note pro売上高147,721千円（前年同期比19.7%増）、法人向けサービス売上高18,550千円（前年同期比29.5%増）、その他売上高5,616千円です（前年同期比34.3%増）。また、セグメント利益は22,763千円（前年同期比255.5%増）となりました。

(注) 1. ARR=Annual Recurring Revenueは、各四半期末月のMRR^{(注)2}を12倍したものです。

2. MRR=Monthly Recurring Revenueは、月次経常収益。MRRには、note proの基本料金に加え、一部オプション料金も含む。

(IP・コンテンツクリエイション事業)

IP・コンテンツクリエイション事業では、クリエイターの企画や作品のエージェント、コンテンツ制作・販売、外部企業からの企画・コンテンツ制作受託などに取り組んでおります。

この結果、IP・コンテンツクリエイション事業の売上高は15,817千円、セグメント損失は1,507千円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して720,720千円増加し、4,489,872千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して723,069千円増加し、4,394,505千円となりました。これは主に、現金及び預金が519,084千円増加、未収入金が178,531千円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して2,348千円減少し、95,367千円となりました。これは、有形固定資産が1,710千円減少、投資その他の資産が637千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して158,535千円増加し、2,205,523千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して158,535千円増加し、2,205,523千円となりました。これは主に預り金が177,997千円増加したこと等によるものです。

固定負債は、ありません。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して562,185千円増加し、2,284,349千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ274,253千円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の連結業績予想につきましては、2025年1月14日に公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,154,912	2,673,997
受取手形及び売掛金	195,711	239,334
商品及び製品	830	467
仕掛品	612	359
未収入金	1,209,473	1,388,005
その他	109,895	92,340
流動資産合計	3,671,436	4,394,505
固定資産		
有形固定資産	10,311	8,600
投資その他の資産	87,404	86,766
固定資産合計	97,715	95,367
資産合計	3,769,151	4,489,872
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,474	5,965
1年内返済予定の長期借入金	80,000	80,000
未払法人税等	3,804	692
預り金	1,577,858	1,755,855
その他	381,850	363,010
流動負債合計	2,046,987	2,205,523
負債合計	2,046,987	2,205,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,964	305,218
資本剰余金	1,987,652	2,261,905
利益剰余金	△315,903	△310,926
自己株式	△69	△69
株主資本合計	1,702,643	2,256,127
新株予約権	19,520	28,221
純資産合計	1,722,164	2,284,349
負債純資産合計	3,769,151	4,489,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
売上高	804,764	957,626
売上原価	42,399	52,166
売上総利益	762,364	905,459
販売費及び一般管理費	769,417	899,939
営業利益又は営業損失(△)	△7,053	5,519
営業外収益		
受取利息	8	837
違約金収入	2,554	2,537
その他	1,699	491
営業外収益合計	4,261	3,866
営業外費用		
支払利息	189	88
株式交付費	137	2,805
その他	1,201	433
営業外費用合計	1,528	3,326
経常利益又は経常損失(△)	△4,320	6,059
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,320	6,059
法人税、住民税及び事業税	602	694
法人税等調整額	—	387
法人税等合計	602	1,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,922	4,977
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,922	4,977

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,922	4,977
四半期包括利益	△4,922	4,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,922	4,977

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自2024年12月1日至2025年2月28日)

当社は、2025年1月29日付で、Google International LLCから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が249,986千円、資本準備金が249,986千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が305,218千円、資本剰余金が2,261,905千円となっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年12月1日 至2025年2月28日)
減価償却費	2,231千円	1,710千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	メディア プラット フォーム事業	IP・コンテンツ クリエイション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	804,764	—	804,764	—	804,764
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	804,764	—	804,764	—	804,764
セグメント利益又は損失 (△)	6,402	—	6,402	△13,456	△7,053

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額には、報告セグメントに配分していない全社費用13,456千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年12月1日至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	メディア プラット フォーム事業	IP・コンテンツ クリエイション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	941,809	15,817	957,626	—	957,626
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	941,809	15,817	957,626	—	957,626
セグメント利益又は損失 (△)	22,763	△1,507	21,256	△15,736	5,519

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額には、報告セグメントに配分していない全社費用15,736千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「メディアプラットフォーム事業」の単一セグメントとしておりましたが、前連結会計年度に新規設立したnote AI creative株式会社、Tales & Co. 株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、前第4四半期連結会計期間より「メディアプラットフォーム事業」及び「IP・コンテンツクリエイション事業」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより的確に管理することを目的に、従来「メディアプラットフォーム事業」に配分していた費用のうち一部については報告セグメントに帰属しない全社費用として「調整額」に含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。